

浄土真宗本願寺派 鹿児島教区・鹿児島別院 さつま開教150年 記念法要



法要のご案内



光はここに 光はここから
～いのち礼讃 そして念仏の新たな歩みへ～

浄土真宗本願寺派
鹿児島教区・鹿児島別院

団体参拝に伴う留意事項

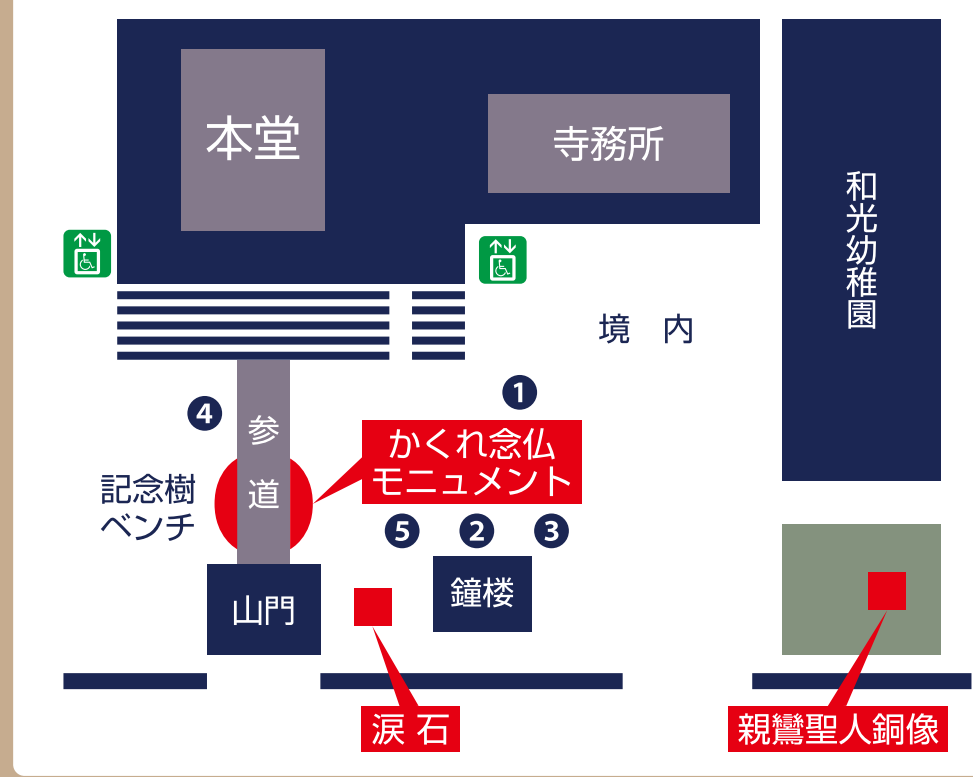
- 各寺の参拝日については、参拝日程表をご確認ください。
- 帰敬式受式希望者は、「帰敬式」の欄に「○印」をご記入のうえ、備考欄に生年月日を必ずご記入ください。
- 団体参拝、帰敬式にかかる集合時間、受付場所、バスの乗降場所等の詳細については、後日、各ご寺院宛にご通知いたします。
- 参拝当日別院で昼食をご希望のご寺院は、下記参拝庶務事務局へお問い合わせください。
- 法要は、全716席椅子席になります。参拝者の中で、車イス使用、その他、特別の配慮を希望されます方は、備考欄にその旨を詳しくご記入ください。
- 当日は、各寺院の引率代表者の方に代表して受付をして頂きます。代表者は、名簿の「引率代表者」欄へご記入ください。尚、引率される住職、坊守、寺族の方も参拝者名簿にご記入ください。
※但し、団体参拝予定日に法要実行委員、並びに法要出勤等の役割に該当されます方は、ご記入不要です。
- 申込書が不足の場合は、コピーでの対応等をお願いいたします。

団参申込書のご提出の後、変更等がありました時は、早急に事務局までご連絡ください。
(別院：TEL099-222-0051 参拝庶務部事務局：蓮沼、加藤、田村)

法要スケジュール

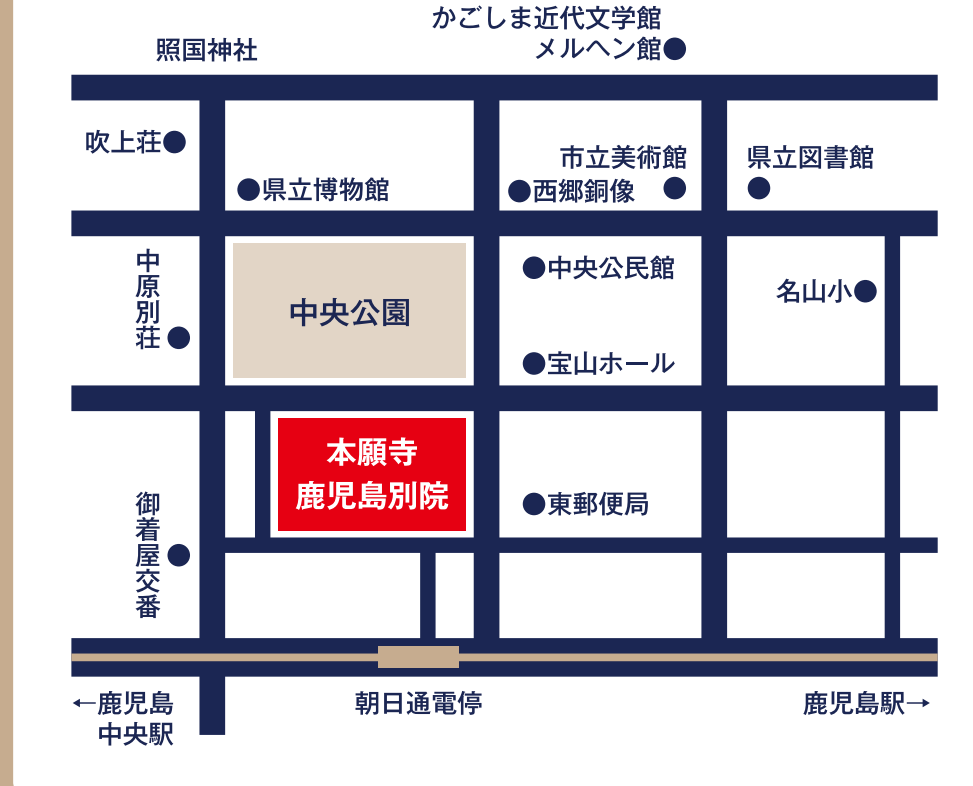
10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)
法要 12:00～受付 12:45 オリエンテーション 12:55 記念布教 13:20 縁儀参進 13:30 法要 14:15 輪番挨拶 14:20 法要終了 行事 14:30 記念イベント「二胡コンサート」 16:00 記念イベント終了	午後の法要 12:30～受付 13:15 オリエンテーション 13:25 記念布教 13:50 縁儀参進 14:00 法要 14:50 ご親教 15:05 輪番挨拶 15:10 法要終了 行事 15:30 かくれ念仏モニュメント披露式 帰敬式 12:30～受付 16:00 帰敬式 16:40 帰敬式終了	午前の法要 8:30～受付 09:15 オリエンテーション 09:25 記念布教 09:50 縁儀参進 10:00 法要 10:50 ご親教 11:05 輪番挨拶 11:10 法要終了 帰敬式 8:30～受付 11:45 帰敬式 12:25 帰敬式終了 午後の法要 12:30～受付 13:15 オリエンテーション 13:25 記念布教 13:50 縁儀参進 14:00 法要 14:50 ご親教 15:05 輪番挨拶 15:10 法要終了

境内案内MAP



- ①来賓受付 ②教区寺院受付 ③帰敬式受式者受付
④物販テント ⑤参拝者休憩所

案内MAP



注) 自家用車での参拝の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

浄土真宗本願寺派

鹿児島教区・鹿児島別院 さつま開教 150 年記念法要

趣 意 書

法要スローガン “光はここに 光はここから”

サブタイトル ～いのち礼讃 そして念仏の新たな歩みへ～

光に映えて、朝の鹿児島別院の薨は白銀に輝いています。光に映えて、夕べには妻飾りが黄金色に輝いています。1876（明治9）年9月5日、「信教自由の令」発布によって、さつまにおける念仏禁制が解禁されて以来、別院この地は僧侶や門徒の希望と伝道の光となって、開教の波は県下に広がり、そのみ教えは人々の心の奥底に染みこんで、寺院192ヵ寺（鹿児島別院22出張所・教区169ヵ寺）の鹿児島教区として発展してきました。そして本願寺第21代明如宗主はその開教のいとなみを根底からお支えくださり、さらに鹿児島発展にもご尽力くださいました。

阿弥陀如来の前にはすべてのいのちは等しく尊いという浄土真宗の教えは、藩の体制を確立せねばならない当時の薩摩藩にとっては容認し難いものでした。その施策は約300年間続く念仏禁制となり「かくれ念仏」「法難の歴史」として今に残りますが、それはまさしく、阿弥陀如来の智慧と慈悲の光に照らされ護られ励まされ、共につながり支え合ったさつま念仏者の尊き歴史であります。時に過酷な弾圧の中で、如来の光はどれほど念仏者の心のより所となり、どれほど力となったことでありましょう。

開教より150年を経た今日、科学技術の進歩とともに人々の生活は豊かになりましたが、一方では世界各地での紛争、大規模災害、気候変動、教育や富の格差など、地球規模で深刻な「いのち」の問題が山積しています。阿弥陀如来の光はまた、これらの人間の迷いの闇を破り、社会の暗闇を照らし、同時にすべてのいのちを摂取するはたらきでもあります。

光はここに、光はここから…この度のご法要をお迎えするにあたり、開教にいそまれたすべての方々のご苦勞を偲ぶとともに、先達念仏者方のご功績に深く感謝し、今に輝くそのいのちをお讃えいたしましょう。そしてその歴史に学びつつ、鹿児島別院を主軸とする教区の一寺院一寺院がさらに地域社会の光となるよう、「自他ともに心豊かに生きる社会」をめざして、念仏の新たな歩みを進めて参りましょう。

【参考】「光はここに 光はここから」…光は、阿弥陀如来の智慧と慈悲を表すとともに、禁制時代かくれ門徒のより所となった念仏の教えを表します。そしてこの光は時と場所を越えて、いつの時代にもいかなる人をも照らす真実の教えを表します。さらにこの光は、開教と同時に伝道の拠点となった別院の地を示し、県下各地域に念仏の道場として建立された一つ一つの寺院を表しています。

要 綱

一、法要名称 浄土真宗本願寺派 鹿児島教区・鹿児島別院「さつま開教150年記念法要」

一、スローガン サブタイトル 光はここに、光はここから
～いのち礼讃 そして念仏の新たな歩みへ～

一、法要趣旨 左記趣意書をご参照ください。

一、法要期日 2026（令和8）年10月26日（月）速夜から28日（水）速夜まで

一、法要会所 本願寺鹿児島別院 本堂（鹿児島市東千石町21番38号）

一、主 催 浄土真宗本願寺派 鹿児島教区・本願寺鹿児島別院（共催）

一、参拝内容 参拝者数 27日（火）～28日（水）
一座 716名（全席椅子席） 3座 計2,148名
※教区（1,441名） 別院（617名） 来賓等（約90名）
※各組参拝日は右記日程表に割当日が記載されておりますのでご確認ください。
帰 敬 式 27日・28日 各1回の合計2回 各回200名を予定

一、参 拝 帰 敬 式 申 込 寺院ごとに、別紙「参拝申込書」に必要事項をご記入のうえ、
・参拝懇志（お一人 3,000円）
・帰敬式冥加金14,000円（※未成年8,000円）を添えて、
7月31日（金）までに組長事務所へご提出ください。
また、内願者は別途様式（帰敬式受式願）も併せてご提出ください。
・内願冥加金 別途10,000円（成年・未成年同額）

一、法 要 懇 志 参拝懇志とは別途に、同封の「ご懇志のお願い」チラシにおいてご懇志のお願いをいたしております。ご協力よろしくご願ひ申し上げます。
尚、法要当日は、お賽銭箱を設置いたしません。法要が近づきましたら各寺院へ、団体参拝用の「お賽銭袋」をお届けいたしますのでよろしくお願いいたします。

一、連 絡 事 項 26日（月）速夜法要は教区外団参の方が対象ですが、教区内寺院からのお申し込みも可能です。詳細は、ホームページでご確認ください。
尚、法要終了後、姜 暁艶（ジャン ショウイェン）氏による記念イベント「二胡コンサート」が開催されます。
27日（火）法要後には、かくれ念仏モニュメント披露式が行われます。

一、法要事務局 〒892-0842 鹿児島市東千石町21番38号
鹿児島教区教務所・本願寺鹿児島別院
電 話：099-222-0051
F A X：099-226-4526



さつま開教150年

参 拝 日 程

法要期日	法要開始時間・帰敬式	参 拝 組		参拝割当数
10月26日（月） ※輪番導師	速 夜 （午後1時30分より） ※法要後「二胡コンサート」	速 夜	教区外団参 ※教区内参拝希望 寺院は要申込	
10月27日（火） ※ご門主様ご親修	速 夜 （午後2時より） 帰敬式（速夜後）	速 夜	南 薩 組 東 隅 組 南 隅 組 別 院 組	107名 154名 164名 261名
10月28日（水） ※ご門主様ご親修	日 中 （午前10時より） 帰敬式 （昼 前） 速 夜 （午後2時より）	日 中	鹿児島組 揖宿組 北隅組 祁答院組 伊佐組 別院組	172名 110名 229名 115名 39名 21名
		速 夜	川内組 出水組 南島組 別院組	184名 140名 27名 335名



記念布教講師

ひらしま ぎじん
平島 義仁氏

本願寺派布教使
曾於市・覺照寺 住職

寺院の護持に努めるとともに、法要や法話、仏教行事などを通して仏教の教えを広く伝えている。地域社会とのつながりを大切にしながら、いのちの尊さや平和の大切さを語り、門信徒とともに仏教文化の継承と地域社会への貢献に努めている。また、地域行事や交流活動にも積極的に関わり、仏教を身近に感じられる場づくりにも力を注いでいる。



かくれ念仏 モニュメント制作

なかむら しんや
中村 晋也氏

彫刻家

三重県出身の彫刻家。戦後に彫刻家として活動を始め、鹿児島を拠点に制作を続けた。宗教的・精神的なテーマを重視した人物像で知られ、柔らかな造形と深い祈りの表現に特色がある。奈良の薬師寺に奉納された「釈迦十大弟子」像をはじめ多くの作品を制作し、日本芸術院会員となり、日本芸術院賞や文化勲章も受章した。



記念イベント 「二胡コンサート」

ジャン ショウイェン
姜 暁艶氏

二胡奏者
医学博士

中国・大連市生まれの二胡奏者、医学博士。5歳から二胡を学び、1997年に来日。広島大学医学部で博士号を取得した。現在は広島を拠点に、「いのちの尊さ」「平和への願い」をテーマに、日本各地や海外でコンサートや講演活動を行う。テレビ出演や文化イベントへの参加など幅広く活躍し、二胡の魅力を伝えている。